

正誤表

三好 康彦 著

「2019-2020 年版 給水装置工事主任技術者試験 攻略問題集」

株式会社オーム社 2019 年 1 月 20 日 第 1 版第 1 刷用

頁	当該箇所	誤	正
156	平成 30 年 問 35 解説 2 以降	2. F-C 間 給水栓 C 損失水頭 2.3m 給水管の損失水頭 C-C' $600/1,000 \times 1.5\text{m} = 0.9\text{m}$ C'-F $100/1,000 \times (1.5\text{m} + 1.5\text{m} + 2.0\text{m}) = 0.5\text{m}$ 高低差 0.0m 合計 3.7m ② 3. F-E 間 給水栓 E 損失水頭 0.8m 給水管の損失水頭 E-E' $200/1,000 \times 1.0\text{m} = 0.2\text{m}$ E'-F $40/1,000 \times 2.0\text{m} = 0.08\text{m}$ 高低差 0.0m 合計 1.08m ③ 以上から損失水頭が最も大きい①の F-A 間のみを 考慮すればよい。 なお, F-E 間は最も損失水頭が小さいことが明白な のでこの計算は省略すると時間が節約できる。 4. G-F 間の損失水頭 分水栓 0.9m 止水栓 2.7m 水道メーター 3.0m 給水管の損失水頭 $40/1,000 \times (6.0\text{m} + 1.0\text{m}) = 0.28\text{m}$ 高低差 1.0m (= 4.5m - 2.5m - 1.0m) 合計 7.88m ④ 5. 全所要水頭 全所要水頭は①+ ④で算出される。 $4.7\text{m} + 7.88\text{m} = 12.58\text{m} \approx 12.6\text{m}$ 以上から (2) が正解。 答 (2)	2. F-C 間 給水栓 C 損失水頭 2.3m 給水管の損失水頭 C-C' $600 / 1,000 \times 1.5\text{m} = 0.9\text{m}$ C'-E' $100 / 1,000 \times (1.5\text{m} + 1.5\text{m}) = 0.3\text{m}$ E'-F $200 / 1,000 \times 2.0\text{m} = 0.4\text{m}$ 高低差 1.5m 合計 5.4m ② 3. F-E 間 給水栓 E 損失水頭 0.8m 給水管の損失水頭 E-E' $200 / 1,000 \times 1.0\text{m} = 0.2\text{m}$ E'-F $200 / 1,000 \times 2.0\text{m} = 0.4\text{m}$ 高低差 1.0m 合計 2.4m ③ 以上から損失水頭が最も大きい②の F-C 間のみを 考慮すればよい。 なお, F-E 間は最も損失水頭が小さいことが明白な のでこの計算は省略すると時間が節約できる。 4. G-F 間の損失水頭 分水栓 0.9m 止水栓 2.7m 水道メーター 3.0m 給水管の損失水頭 $350 / 1,000 \times 6.0\text{m} = 2.1\text{m}$ 高低差 1.0m (= 4.5m - 2.5m - 1.0m) 合計 9.7m ④ 5. 全所要水頭 全所要水頭は②+④で算出される。 $5.4\text{m} + 9.7\text{m} = 15.1\text{m}$ 以上から (4) が正解。 答 (4)